

法廷に立つた良一

現内閣失政の問答から始まる
顔を曇らす教唆者橋本榮五郎

不戻少年の悪魔力

華府會議を中心として

幣原の病氣、華府の氣分

翁 漢

六

原時代から高橋時代に

吾輩も普選案を提出する事にな

く鳴るに申しまして橋本の

休憩

は有利な陳述をして一先

づ

研究會の放火は

起した怪漢二人も疑問

十六日夜貴族院研究會裏手便所

の板橋へ石油を注ぎ放火し

て朝來警視

捜査課は所轄署と協力

逃げた怪漢二人も疑問

十六日夜貴族院研究會裏手便所

の板橋へ石油を注ぎ放火し

て朝來警視

捜査課は所轄署と協力

起した怪漢二人も疑問

十六日夜貴族院研究會裏手便所

の板橋へ石油を

新歸朝者驚き

東京支社 聞谷 生

道路

一

二

三

四

五

六

七

八

九

十

十一

十二

十三

十四

十五

十六

十七

十八

十九

二十

二十一

二十二

二十三

二十四

二十五

二十六

二十七

二十八

二十九

三十

三十一

三十二

三十三

三十四

三十五

三十六

三十七

三十八

三十九

四十

四十一

四十二

四十三

四十四

四十五

四十六

四十七

四十八

四十九

五十

五十一

五十二

五十三

五十四

五十五

五十六

五十七

五十八

五十九

六十

六十一

六十二

六十三

六十四

六十五

六十六

六十七

六十八

六十九

七十

七十一

七十二

七十三

七十四

七十五

七十六

七十七

七十八

七十九

八十

八十一

八十二

八十三

八十四

八十五

八十六

八十七

八十八

八十九

九十

九十一

九十二

九十三

九十四

九十五

九十六

九十七

九十八

九十九

一百

一百零一

一百零二

一百零三

一百零四

一百零五

一百零六

一百零七

一百零八

一百零九

一百零十

一百零一

一百零二

一百零三

一百零四

一百零五

一百零六

一百零七

一百零八

一百零九

一百零十

一百零一

一百零二

一百零三

一百零四

一百零五

一百零六

一百零七

一百零八

一百零九

一百零十

一百零一

一百零二

一百零三

一百零四

一百零五

一百零六

一百零七

一百零八

一百零九

一百零十

一百零一

一百零二

一百零三

一百零四

一百零五

一百零六

一百零七

一百零八

一百零九

一百零十

一百零一

一百零二

一百零三

一百零四

一百零五

一百零六

一百零七

一百零八

一百零九

一百零十

一百零一

一百零二

一百零三

一百零四

一百零五

一百零六

一百零七

一百零八

一百零九

一百零十

一百零一

一百零二

一百零三

一百零四

一百零五

一百零六

一百零七

一百零八

一百零九

一百零十

一百零一

一百零二

一百零三

一百零四

一百零五

一百零六

一百零七

一百零八

一百零九

一百零十

一百零一

一百零二

一百零三

一百零四

一百零五

一百零六

一百零七

一百零八

一百零九

一百零十

一百零一

一百零二

も一つは十番の指環ださうで
和島は船がぶるぐへ出でし
て來た。いくら落付かううとして
も、すればする程體の涙が
昂じて來た。彼は帽子も取らず
に奥へ入つて行つた。
もして皆の居る處へ顔を出し
て同僚の男に、
「何を盗まれたつて云ふじやな
いか」
と、静かにから聲をかけた。
「うむ、因つたことになつたよ」
和島は無言の儘其處に立盡
た。
「大抵見當はつきました。外か
ら入つたものじやあません。
案外血出るでせう」
かう云つて、支配人の顔を見
たのは刑事であつた。
『殘念なのは盗まれた時日が
つきりしてゐないんで捜査上、
少し不便ですが、いつ頃か大凡
の處は分かりませんか知ら
『どうもそれがはつきり分から



菊彌が夢を見た。それで行つて夢を現れた。それは何めにやれども、和嶋は電車に乗り、車内に電線を持ち、それを曳かれる。と思はう。店の前に立て、威嚇する。にいふ様持はれてゐる電車で飛ばしてゐる。突然の反動で駆け出でた。走つて行った。突然の計画は出勤時間の過ぎてゐた。過ぎてゐた。するほど小僧の顔付で、和島さん、泥すよ、今刑事が云つた。

空翻る人

北尾 龍男

ないんで困るんですが、兎に角この一ヶ月以内の事だけは確かです、もの時分、帳薄と引合の時に確かに有つたんですから、それは確かですか。ううです、何か、じつまださう遠くへは出て居ますまい、まあ愈に角筋力やつて見ませう」と、云つて、刑事は歸つて行つた。

「冗談じやない、刑事の口振にやや迷いに疑惑がまつても思ひません、いせ」

「さうらしいな、店員の宿所姓名を書取つて行くなんて、随分人を侮辱してやがる」

同僚のかう立話してゐるのを聽いた和島は、「さうかい、俺達の家まで調べて行つたかい」

| | |
|------------------|-------------|
| 桑港公認齒科醫師院 | 意隨院入 |
| 桑港ゲリード街(一七八三五) | 產婦人科、外科、小兒科 |
| 井戸本保之助 | 麻風病院 |
| ファインセラフナガル | 當舖 |
| 桑港ガス街一七七六 | 桑港花街 |
| 林秀樹 | 日本本病院 |
| ファインセラフナガル | 中村竹之助 |
| 桑港アキヤン街一七三九 | 二八二〇西 |
| 小川榮一 | |
| ファインセラフナガル | |
| 桑港ガス街五三〇 | |
| 田中敏太郎 | |
| エリスト六八六 | |
| 桑港タバコ街一五六八 | |
| 山本辰雄 | |
| ファインセラフナガル | |
| 桑港サタケ街七七七 | |
| 藤田省三 | |
| エリスト八五五 | |
| 桑港オストロス街(桑港)一七三二 | |
| 木幡篤太郎 | |
| フキンセラフナガル | |
| 桑港ガス街一六六二 | |
| 檜垣益一 | |
| カエストル八四四 | |

(○) 注意 篠原製胃腸丸共圖の如き四角の箱入りなり四角箱入に非ざる物は偽物或は不正品なり

仙十二 弗一 仙十六 定價二弗

近來本邦に類稱する藥あり雖も弊店の本剤は創見者十數年の研究に依り發見したる特種藥にして如何に重き此の難病を不可思議な程、拭ふが如く全治す、胎兒には隨りなき事保証。

篠原製胃腸丸の信頼と其の効用と評價は世既に定評あり其の効用の諸病に顯著なる實に不思議と稱せらる是不死剤の稱ある所以なり「リヨウマチ」脚氣、皮膚病、神經痛、神經衰弱、肋膜の重患を治療收澤山特に「ヤケド」「ケガ」打身には本の右に出る藥なし詳細の説明書あり

院・道・運・送・す・行・山・橋・鄭・詳・宛

ボイ一募集

來れ!!

サクラメント平原に
破格の高給を支拂ふ

スピニチより順次各種野菜
苺、果物、種物、ハツブス、葡萄等
十一月初旬まで仕事の絶間なし

サクラメントバレー

米國商標權有所者次商會

THE SUETSUGI CO.
Phone Fillmore 1014 2022 Pine St., S. F. Calif.

會商次末 者有所權標商國米
THE SUYETSUGI CO.
Phone Fillmore 1014 2022 Pine St., S. F. Calif.

• 3